

事業番号	353
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	部活動等指導事業						担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	学校教育課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	学校教育係		
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		16 学校教育		4 調和のとれた人間形成づくりを支援する				
		副目的									
	予算区分	款	10	項	1	目	3	大	8	中	3
	根拠法令・個別計画	小牧市立小・中学校部活動指導事業費交付要綱、部活動運営委員会規約									
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	小中学校における部活動の振興を図る。									
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が児童生徒の部活動を指導することにより、小中学校における部活動の振興を図った。</li> <li>・児童生徒の総合体育大会(東海大会、全国大会)、吹奏楽コンクールへの派遣費用を負担した。</li> </ul> <p>◆24年度直接経費の内訳</p> <p>指導員謝礼(6,984千円) 大会等派遣負担金(953千円)</p> <p>◆25年度直接経費の内訳</p> <p>指導員謝礼(10,404千円) * 土日祝日の活動であるジュニアクラブ中学校体育の活動が部活動として位置づけられたことに伴い、これまで体育協会から教員へ支払われていた「ジュニアクラブ指導者謝礼」を「部活動謝礼」として本事業から支払う。 大会等派遣負担金(1,586千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	8,153	8,029	7,937	11,990	
		正職員	従事者数	人	0.08	0.08	0.08	0.08
			人件費	千円	426	426	426	426
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	8,579	8,455	8,363	12,416		
対前年比	%			98.5	98.9	148.4		
財源	一般財源	千円	8,483	8,395	8,328	12,416		
	国・県支出金	千円	96	60	35	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	中学校部活動担当指導教員数	人	目標		—	—	—
実績				253	246	251	
小学校部活動担当指導教員数	人	目標		—	—	—	—
		実績		382	370	379	
績	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
			総合体育大会等派遣件数	件	目標	—	—
			実績	5	3	2	
小学校部活動児童参加率(4~6年生)	%	目標		—	—	—	—
		実績		64	68	69	

事業の自己評価	平成24年度の実施結果		事業の達成状況	
	事業実施における課題		<p>小中学校とも部活動が活発に行われ、多くの児童生徒がスポーツ・文化活動を親しむことができた。また、児童生徒の大会派遣費用を負担することができた。</p>	
	事業を縮小・廃止したときの影響		<p>平成24年度までは、中学校部活動指導者謝礼として、愛知県から補助金が交付されていたが、平成25年度からは、この補助金が廃止となったため、今後の事業存続について検討が必要となった。</p>	
	平成25年度の改善内容		<p>事業を縮小・廃止したときの影響</p> <p>児童生徒の大会派遣費用減額に伴い、結果として保護者の負担増へつながる。</p>	
	平成25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)		<p>県補助金の廃止を受け、部活動指導者謝礼の取扱について、近隣自治体の状況を調査しつつ検討する。土日祝日の活動であるジュニアクラブ中学校体育の活動が部活動として位置づけられたことに伴い、これまで体育協会から教員へ支払われていた「ジュニアクラブ指導者謝礼」を「部活動謝礼」として本事業から支払う形にした。</p>	
平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	<p>事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)</p>	
	判定理由	<p>これまで平日の勤務時間外の指導に対し、支払われていた謝礼については、県補助金が廃止されており、今後、縮小せざるを得ないと判断した。ただし、土日祝日の指導に対する謝礼については、勤務時間外の活動であり、今後も継続する。</p>		
	26年度以降の改善案	<p>平日時間外の指導謝礼の廃止を検討する。また、全国大会、東海大会の出場の際に支給していた生徒の大会派遣負担金について、支給対象を県大会出場まで拡大することにより、保護者負担の軽減につなげる。</p>		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	<p>一次評価のとおり。県補助金の廃止に伴い、平日時間外の部活動等の指導謝礼は廃止を検討すること。</p>